



令和7年11月25日(火) 青森地方裁判所開催

第15回裁判員等経験者の意見交換会

より、裁判員経験者の声をお届けします!

参加者

○市川多美子 裁判所長(主催) ○藏本匡成 裁判官(司会) ○大井俊哉 裁判官
○中川知三 検察官 ○天野高志 弁護士 ○裁判員経験者4名



1

裁判員を 経験した感想

- ・最初は不安だったが、裁判員を経験してよかった。
- ・テレビやドラマの世界のように遠くに感じていたが、身近に感じるようになった。
- ・報道では分からない事件の裏側について知ることができてよかった。
- ・裁判員経験前とはニュースの見方が変わった。



2

検察官や弁護人の 訴訟活動の感想

- ・文章だけでなく、画像等を用いた説明が分かりやすかった。
- ・説明がスムーズだと頭に入ってきてやすいと感じた。
- ・弁護人の説明を聞くことで、被告人の気持ちを理解することができた。
- ・検察官のチームワークの良さが印象的だった。



3

評議に参加した 感想

- ・感情的に話してしまった際に、裁判官からの助言で、証拠や証言を基に冷静に考えることができた。
- ・みんなで話し合い、一緒に考えて、協力しながら進めていくのだなと実感した。
- ・評議の進め方について全く知らなかったが、裁判官が丁寧に教えてくれた。

4

これから裁判員になる方への
メッセージ

裁判官や検察官、弁護士と直接仕事をする機会は貴重で、大変勉強になりました。自分にとって大きな財産になったので、ぜひ皆さんにも参加してみてください。



限られた証拠や証言から判断する難しさを知り、判決への見方が変わりました。多くの方に体験してほしいと思います。



まだまだ世間の理解は十分とは言えません。だからこそ、裁判員としての経験を多くの人に伝え、裁判員制度を知ってもらいたいと思います。



5

報道機関からの質問



Q: 担当した事件の報道内容にギャップを感じたか

A: ギャップは感じなかった。ただし、報道だけでは分からない事情があるのだろうという思いでニュースを見るようになった。

Q: 評議室の雰囲気はどうだったか

A: 裁判官のおかげで緊張がほぐれ、和やかな雰囲気だった。雑談時と評議のメリハリが印象的だった。

Q: 裁判員制度への参加に職場の理解はあったか

A1: 職場で初めての裁判員参加者であったため、これを機に職場全体で理解を深めていきたいという雰囲気になった。

A2: 職場でどういう対応ができるかを調べてくれた。特別休暇を充ててくれたと思う。